

# AED(救命装置)設置 公共施設が

## 公民館5館を加え55施設に

市では、心臓発作による突然死を、可能な限り防いでいこうと、平成18年から公共施設にAEDを順次設置しています。7月には新たに公民館5館に整備し、設置施設は55か所となりました。AEDは、医療に携わらない一般の方にも使用が認められている「救命器械」です。消防本部・消防署では、使用方法の講習会を随時開催していますのでご利用ください。

心機能停止状態に陥った場合に備え、市役所や総合公園体育館、文化センター、いちいのホール、小中学校、各消防署などの公共施設にAED(心臓救命装置)を設置してきました。

7月には新たに、公民館5施設(川間、東部、南部梅郷、関宿中央、関宿北部)に設置し、全部で55施設となりました。

今後も設置施設を順次増やしていく予定です。

### 電気ショックで心肺蘇生

「心室細動」といわれる重症の不整脈により、突然に心臓が止まった場合、1分経過するごとに生存率は約10パーセント減少するといわれています。

お近くにいる方に心臓発作の症状がみられた場合には、まず、119番通報し、救急車が来るまで

### 順次公共施設に設置

市では、市民の皆さんが突然

の間、気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージといった心肺蘇生法を行うとともに、AEDにより心臓への電気ショックを速やかに行うことが重要です。

AEDは小型の器械で、体外(裸の胸の上)に貼った電極パッドから、自動的に心臓の状態を判断し、心室細動という不整脈を起こしていれば、強い電流を一瞬流して、心臓に電気ショックを与え、心臓の状態を正常

### ■ AED設置公共施設 (平成23年7月末現在)

区分	施設数	施設名等
小中学校	31	全校
体育施設	3	総合公園(体育館、陸上競技場)、関宿総合公園体育館
公民館	6	福田公民館、川間公民館、東部公民館、南部梅郷公民館、関宿中央公民館、関宿北部公民館
消防署	6	消防署、中央分署、北分署、南分署、関宿分署、関宿分署北出張所
その他の施設	9	市役所本庁舎、いちいのホール、樺のホール(興風図書館)、保健センター、関宿保健センター、北コミュニティセンター、南コミュニティセンター、文化会館(中央公民館)、中根配水場

に戻す機能を持っています。

### 使用方法の講習会を随時開催

AEDは、医療に携わらない一般の方にも使用が認められており、実際に市内でも尊い命が

救われた事例もあります。

救助者が行う操作は、①電源を入れる、②電極パッドを患者の胸にはる、③除細動ボタンを押す、のわずか3つだけで、AEDが操作手順を音声と液晶画面で順次知らせてくれます。

なお、消防本部・消防署では、救急車到着前などでも慌てずに心肺蘇生法やAEDが使用できるよう、応急手当の講習会を随時開催しています。

自治会や企業には、出張講習会も行いますので、お問い合わせください。

【問合せ】消防本部 ☎ 7124 10119

### ■ AEDの操作方法



① AEDを傷病者の横に置き、ふたを開けて電源ボタンを押します。  
\* AEDは、電源を入れると音声メッセージと点滅するランプで、手順を指示してくれますので、落ち着いて指示に従ってください



② 傷病者の衣服を取り除き、胸部を裸にしてから、電極パッドの粘着面を傷病者の胸部にしっかりとはり付け、ケーブルをAED本体の差込口(点滅しています)に入れます。  
\* 電極パッドをはり付ける位置は、電極パッドが入っていた袋に絵で示されています  
\* 胸が汗や水でぬれている場合は、タオルなどでふき取ってください。また、胸毛が濃くて電極パッドが体表に密着できない場合、パッドを使ってはり付ける部分の体毛を除去し、予備の電極パッドをはり直します。金属類のアクセサリーは、できるだけ外してください



③ 電極パッドをはると、自動的に心電図の解析が始まります。操作している方以外は速やかに傷病者から離れてください。電気ショックを加える必要があると装置が判断した場合、「除細動ボタンを押してください」とメッセージが流れますので、どなたも傷病者に触れていないことを確認し、除細動ボタンを押します。